

外国語（英語）

<単元・題材名等>

身近な物の名前

中学校
知的障がい特別支援学級

OS・ソフト等

- ・ Apple iPad
- ・ Google Class Room
(Google スライド)

ねらい

「Flower Game」に取り組むことを通して、身近な野菜や果物の名前を英語で言ったり、色や形などそれらの特徴を英語で相手に伝えたりすることができる。

主なICTの活用方法

- ・ 大型モニターに学習する英単語とイラストを Google スライドのプレゼンテーションを使って、繰り返し提示する。
- ・ タイピングサイトを活用し、タブレットでタイピング練習をする。

ICT通じて育成する資質・能力

- ・ 学習への意欲・関心を高めるとともに、提示された英単語へのイメージを広げることができる。
- ・ ローマ字を覚えるとともに、タイピングができるようにする。

実践の概要

- ・ 英語の習得のためには、言語に慣れ親しむこと、言語使用の必然性が必要である。「Flower Game」というゲーム（ヒントを伝えて英単語を当ててもらおうクイズ）を用いることにより、英語を使う必然性と学習への意欲が高まる。ヒントを考えるための手立てとして、大型モニターに英単語とイラストを映し出し、視覚的に捉えることで、イメージを広げるとともにイラストと発音を記憶に印象付けることができる。
- ・ 週4時間の英語の時間のうち、1時間を「書くこと」の活動とし、ローマ字（ヘボン式）の学習を行っている。英単語の綴りや発音がローマ字と異なる点が多く、混同してしまうことがある。そのため、まず、ローマ字を覚えるために、タイピングサイトを活用してローマ字入力をする。ローマ字を覚えたら、少しずつ長い文章を打つ練習を行う。まとまりのある文章を打つことができるようになったら、宿題として取り組んでいく予定である。ローマ字を覚えたら、英単語の綴りの学習を行う。

生徒の学びの様子

- 授業の導入で、大型モニターに映し出された英単語を繰り返し発音する時間を設けた。初めてのことや英語に苦手意識がある生徒やワーキングメモリに課題がある生徒も、画面を見てイメージを広げ、元気に発音していた。その後のゲームでは、ヒントを考え自信をもってクイズを出題することができた。
- ローマ字を覚えたら、自分の名前や好きな物、自己紹介文を短い文章で打つようにした。文字に迷わず一定のリズムでタイピングできることを目指している。生徒からの希望で、校歌の歌詞をタイピングすることにし、鼻歌を歌いながらキーボードを打っている。



指導のポイント

- 大型モニターに映し出す英単語のイラストは、クイズのヒントをイメージしやすいように、見やすいものにする。本時、英単語の綴りを覚えて書く学習はしないが、イラストと綴りを提示することで、ローマ字表記との違いに気付くことができるようにし、今後の学習につながるようにする。
- 卒業後の進学や将来の自立のためにも、ローマ字を覚えることやタイピングができることは必要である。生徒が意欲的に取り組むことができるよう、ローマ字入力を段階的に指導することにより、達成感を味わえるようにする。